

【相談内容の公開について】

相談内容はネットワークの委員会内で管理され、原文のままでは公開しません。

ただし、医療機関名などが特定されないように匿名化した情報は、データベース化され、今後の院内感染対策に活用されます。

【返答内容の責任について】

ネットワークからの返答はあくまで助言・支援であり、最終的な責任は各医療施設・福祉施設にあります。ネットワークからの助言・支援を参考に適切な対応をお願い致します。

院内感染が実際発生した場合に、当ネットワークから保健所等に直接の情報提供は行いません。各医療施設・福祉施設からの適切な対応をお願いします。

ー相談窓口に関する問い合わせー

青森県院内感染対策支援ネットワーク事務局

〒030-0801 青森市新町2-8-21 青森県医師会内

電話：017-723-1911

FAX：017-773-5002

メールアドレス：kansen-net@aomori.med.or.jp

院内感染対策個別相談事例記録票

相談を受けたい方が差し支えない範囲で記載又は該当部分に印をつけてください。

メールアドレス： kansen-net@aomori.med.or.jp

ファックス番号： 017-773-5002

院内感染が疑わしく、緊急の場合はファックス・メールを送付するだけでなく
青森県医師会（017-723-1911）に電話でご連絡ください。

【相談対象施設の種類の種類】						
病院	診療所	歯科 診療所	介護老人 保健施設	特別養護 老人ホーム	重症心身障害児 (者)施設	その他
【病床数】	0	1~19	20~99	100~199	200~499	500以上
【院内感染対策委員会の有無】				あり	なし	
【ICTの有無】				あり	なし	
【相談の主な対象】		患者	医療従事者	施設	組織	
【相談内容】（複数回答可）						
多発事例		職業暴露	個別管理	環境管理		施設内組織
サーベイランス		消毒法	マニュアル	感染症一般（SARS等）		その他
【院内感染の疑いまたは保菌事例の有無】				あり	なし	

【事例がない場合の相談内容】

相談内容を以下に記載してください(100字程度)。

この事例がない場合の相談内容について、今後の院内感染対策のためのQ&A集などに活用させていただいてよろしいですか。（ 可 、 否 ）

【事例があった場合の相談内容】

事例の発生した場所（複数回答可）：

施設全般、外来、一般病棟、内科系病棟、外科系病棟、精神科病棟、結核病棟、移植病棟、ICU、新生児NICU、透析、手術、検体検査、その他の検査（内視鏡、放射線 等）、給食、その他の入所施設

事例の発生した診療科（複数回答可）：

内科、外科、小児科、産科、婦人科、眼科、耳鼻科、整形外科、精神科、歯科、その他

事例に巻き込まれたと思われる患者の数： 名

事例に巻き込まれたと思われる患者(できればすべて患者)の基礎疾患：

感染部位（複数回答可）：

血流感染、手術部位感染、尿路感染、呼吸器感染、消化器感染、眼、中枢神経系、皮膚、不明又はその他

病原体(別紙のコード番号または病原体名を記載)：

【事例があった場合の相談内容】

事例につき自由に記載してください。

相談年月日	月 日
貴医療施設名	
所在地	
担当者名（職名・連絡先）	

返答の緊急性（ 有 、 無 ）

3) 埼玉県

院内感染地域支援ネットワーク活動状況について

埼玉県保健医療部感染症対策室
埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科

1 設置場所

学校法人埼玉医科大学病院 感染症科・感染制御科

2 相談形式

電話相談による

3 相談業務の開始時期

平成16年12月1日

4 窓口業務時間、窓口担当者の有無

毎週月曜日～金曜日の午前9時から正午まで
専任窓口担当者設置済み 感染管理認定看護師

5 相談対応者の数と所属

5名 埼玉医科大学感染症科・感染制御科
医師および埼玉医科大学 院内感染対策室 専任看護師

6 これまでの相談件数

- ① 平成16年度 2件（問い合わせのみ1件）
主な相談内容 別紙1のとおり
- ② 平成17年度 22件
主な相談内容 別紙1のとおり
- ③ 平成18年度 12件
主な相談内容 別紙1のとおり

7 相談対象施設の種類と件数

- ① 平成16年度
病院2件
- ② 平成17年度
病院15件、重症心身障害児（者）施設2件、特別養護老人ホーム2件、介護老人保健施設1件、その他2件
- ③ 平成18年度
病院9件、診療所1件、特別養護老人ホーム2件、

8 その他の活動に関して

① 平成16年度

○ 院内感染指導者養成研修事業の実施

埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科に設置されているICTの活動を中心に耐性菌対策、針刺し・切創対策及び院内感染を防止するための組織のあり方等について研修を実施し、各医療機関の院内感染対策において、指導的役割を担うスタッフの養成を行う。

○ 院内感染対策に関する講演会の実施

院内感染制御のための組織及び活動、抗菌薬使用のガイドラインの整備や病院職員等への感染防止等についての講演を実施することにより、県内医療従事者の資質の向上を図る。

② 平成17年度

○ 院内（施設内）感染対策に関するアンケート調査の実施

病院、有床診療所、特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設、806施設を対象に、院内（施設内）感染対策に関する取組状況等を調査し、調査報告書の作成や今後の支援策の検討を行う。

○ 院内感染指導者養成研修事業の実施

埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科に設置されているICTの活動を中心に耐性菌対策、針刺し・切創対策及び院内感染を防止するための組織のあり方等について研修を実施し、各医療機関の院内感染対策において、指導的役割を担うスタッフの養成を行う。

○ 院内（施設内）感染対策に関する講演会の実施

アンケート調査の結果を踏まえ、院内感染制御のための組織及び活動、抗菌薬使用のガイドラインの整備や病院職員等への感染防止等についての講演を実施することにより、県内医療従事者等の資質の向上を図る。

③ 平成18年度

○ 院内感染指導者養成研修事業の実施

埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科に設置されているICTの活動を中心に耐性菌対策、針刺し・切創対策及び院内感染を防止するための組織のあり方等について研修を実施し、各医療機関の院内感染対策において、指導的役割を担うスタッフの養成を行う。

○ 院内（施設内）感染対策に関する講演会の実施

院内感染制御のための組織及び活動、抗菌薬使用のガイドラインの整備や病院職員等への感染防止等についての講演を実施することにより、県内医療従事者等の資質の向上を図る。

9 相談件数を大幅に増やす対策に関する意見

- ① 相談に応じる専門家による講演会の開催など、県内の医療従事者と直接接する機会を設けること。

- ② 相談を行った医療機関の情報については、秘匿情報として取扱い、当該医療機関に不利益が及ばないことを十分に周知すること。
- ③ 中小規模の施設や老健、介護施設への広告の充実化を図ること。

10 本年度予算、来年度予算規模

平成 18 年度予算：8 4 7 千円

平成 19 年度予算（案）：8 4 6 千円

11 その他ネットワークに関する希望や意見

昨年実施したネットワーク実務者会議において、厚生労働省医政局指導課から平成 19 年度以降の当該事業の存続については、未定であるとの説明があったが、新型インフルエンザの出現が懸念されており、院内感染対策の強化が必要であることから、全国的に事業化の上、存続するよう要望するものである。

別紙 1

院内感染地域支援ネットワークにおける主な相談内容

【平成16年度】

- 1 MRSA患者の使用したものに關する消毒法等
- 2 多発事例、個別管理について

【平成17年度】

- 1 施設内管理
一般的な抗菌薬の使用方法について、抗菌薬適正使用の文献を紹介して欲しい。
- 2 個別管理
血管カテーテル挿入患者の入浴方法、気管内・口腔内吸引時のチューブのリンスの水について教えて欲しい。
- 3 個別管理
在宅や訪問利用者の使用した尿路カテーテルや点滴ラインなどのチューブ類の廃棄の際の分類方法について教えて欲しい。
- 4 消毒法
各部署で使用した器財器具は一時洗浄、一時消毒は必要かどうか教えて欲しい。
- 5 多発事例・消毒法
下痢、嘔吐、発熱のある方が同時期に10～13人発生し、職員も10人ほど発生した。環境清掃や消毒方法を教えて欲しい。また、監視培養の必要性はあるのか。酸性水の効果はあるのか教えて欲しい。
- 6 職業曝露
HBV患者のCVラインから採血した際に眼の中に血液が入ってしまった。グロブリンを投与したほうがよいのか教えて欲しい。
- 7 感染症一般
喀痰培養からMRSAが陽性であり、何回培養しても陰性にならない。病院の方針で1週間に1回培養し2回連続して陰性になることを確認している。定期的な細菌培養検査が必要なのか、また培養するならどのくらいの頻度で細菌検査をすればよいのか教えて欲しい。
- 8 個別管理
褥創より緑膿菌が検出された。部屋の管理と褥創部の処置はどのようにしたらよいのか教えて欲しい。
- 9 個別管理
肺炎のため転入した患者からアスペルギルス抗原が検出された。個室管理等の対策が必要なのか教えて欲しい。
- 10 感染症一般
バチルス属の治療について教えて欲しい。
- 11 環境管理
利用者に下痢が発生した。他の人への発生はない。環境管理で注意することは

何かあるのか。また届け出の必要性はあるのか教えて欲しい。

12 多発事例

疥癬が3名発生した。現在も同症状の人がいる。防止対策方法を教えて欲しい。

13 消毒法

滅菌物で生物学的インジケータでバチルスが残ってしまった。今後の対策としてどのように行ったらよいのか教えて欲しい。

14 消毒法

喀痰からMRSAや緑膿菌が検出された患者の肺活量検査で使用した物品の処理や消毒はどのように行ったらよいのか教えて欲しい。

15 個別管理

喀痰から緑膿菌の保有者が増加している。治療法を教えて欲しい。

16 多発事例

同室患者間でインフルエンザが多発した。タミフルの予防投与、対象、費用について教えて欲しい。またマニュアルに予防投与の記載をしたほうがよいのか教えて欲しい。

17 マニュアル

マニュアルを作成中。咽頭からMRSAが3+と検出された患者の対応はどのように記載すればよいのか教えて欲しい。

【平成18年度】

1 施設内管理

MDRP患者の部屋の管理について（いつ隔離し、患者への説明など）

2 個別管理

結核患者の吸入器の取り扱いについて

4 消毒法

麻酔回路の消毒方法や、イソジン消毒の使用方法や、CVラインのアクセスポートの消毒剤について

インフルエンザの患者に使用した食器等の消毒や、カルテなどの書類の消毒の必要性について

5 マニュアル

吸引、B型、C型肝炎のマニュアルの記載について

B型肝炎ワクチンの接種方法の記載について

6 多発事例・消毒法

ノロウイルス感染者の消毒方法について

7 個別管理

感染症患者の器材器具の処理方法や、尿道留置カテーテル管理について

8 感染症一般

2剤耐性緑膿菌の患者が発生したため患者管理方法について

9 環境

強酸性水の効果について

10 その他

採血の際のアルコール綿から B 型肝炎の感染のリスクについて

全職員に周知徹底方法について

感染対策の組織の構築するための取り組みについて

注

- 1 19 件は県内（埼玉県）、1 件は県外（山口県）の相談であった。

院内感染対策に関する相談事業報告書

自治体首長 殿

平成 18 年度当該地域支援ネットワークへの院内感染対策相談事業を以下のとおり報告する。

報告年月日 (平成 19 年 3 月 2 日)
 地域支援ネットワーク担当者:

【相談件数】												19 件		
【月例別件数】 (相談開始月)														
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
0	2	5	0	5	3	0	2	0	0	0	2			
【相談施設の種類の種類】 (件)														
病院	診療所	歯科診療所	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	重症心身障害児(者)施設	その他								
14	1	0	0	4	0	0								
【病床数】 (床)		0	1~19	20~99	100~199	200~499	500以上							
		0	2	5	7	4	1							
【院内感染の疑いまたは保菌事例の有無】 (件)								あり		なし				
								19		0				
【相談の主な対象】 (件)														
患者			医療従事者			施設			組織					
10			1			4			4					
【相談内容】 (件)														
多発事例		職業暴露		個別管理		環境管理		施設内組織						
1		0		2		1		1						
サーベイランス		消毒法		マニュアル		感染症一般 (SARS等)		その他						
0		6		5		1		3						

地域コード

西暦

35

2006

山口県

院内感染対策に関する相談事業報告書

自治体首長 殿

平成 18 年度当該地域支援ネットワークへの院内感染対策相談事業を以下のとおり報告する。

報告年月日 (平成 19 年 3 月 2 日)

地域支援ネットワーク担当者:

【相談件数】												1 件	
【月例別件数】 (相談開始月)													
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
【相談施設の種類の種類】 (件)													
病院	診療所	歯科診療所	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	重症心身障害児(者)施設	その他							
0	0	0	1	0	0	0							
【病床数】 (床)		0	1~19	20~99	100~199	200~499	500以上						
		0	0	0	0	1	0						
【院内感染の疑いまたは保菌事例の有無】 (件)								あり	なし				
								0	1				
【相談の主な対象】 (件)													
患者			医療従事者			施設			組織				
1			0			0			0				
【相談内容】 (件)													
多発事例		職業暴露		個別管理		環境管理		施設内組織					
0		0		1		0		0					
サーベイランス		消毒法		マニュアル		感染症一般 (SARS等)		その他					
0		0		0		0		0					

4) 静岡県

院内感染地域支援ネットワーク活動状況／静岡県

1 設置（委託）場所

社団法人静岡県病院協会内

2 相談形式

F A X ・ 電話

*相談システムは別紙のとおり

3 相談業務の開始時期

平成 16 年 3 月

4 窓口業務時間

F A X : 24 時間受付

電 話 : 月曜日・水曜日・金曜日の 13:00~16:00 (祝日を除く)

窓口担当者の有無 : 有 / 専任 (看護師資格有)

5 相談対応者（相談員）の数と所属

<平成 18 年度>

窓口相談員数 : 1 名

所属 : 社団法人静岡県病院協会

静岡県院内感染対策地域支援委員会 9 名 *別記参照

6 これまでの相談件数、主な内容

<平成 16 年度>

相談件数 27 件

多発事例	職業暴露	個別管理	環境管理	施設内組織
	7	8	8	1
サーベイランス	消毒法	マニュアル	感染症一般	その他
2	3	5	4	11

<平成 17 年度>

相談件数 39 件

多発事例	職業暴露	個別管理	環境管理	施設内組織
1	6	2	6	3
サーベイランス	消毒法	マニュアル	感染症一般	その他
4	6	11	3	8

<平成 18 年度>

相談件数 49 件 (平成 19 年 2 月末)

多発事例	職業暴露	個別管理	環境管理	施設内組織
		1	4	1
サーベイランス	消毒法	マニュアル	感染症一般	その他
2	7	4	29	5

7 相談対象施設の種類と件数

<平成16年度>

相談件数 27件

病院	診療所	歯科 診療所	介護老人 保健施設	特別養護 老人ホーム	重症心身 障害児(者)施設	その他
21			1	1		4

<平成17年度>

相談件数 39件

病院	診療所	歯科 診療所	介護老人 保健施設	特別養護 老人ホーム	重症心身 障害児(者)施設	その他
27			4	6		2

<平成18年度>

相談件数 49件(平成19年2月まで)

病院	診療所	歯科 診療所	介護老人 保健施設	特別養護 老人ホーム	重症心身 障害児(者)施設	その他
34			7	3		5

8 その他の活動

<平成15年度>

- ・院内感染地域支援委員会の開催 4回
- ・「院内感染予防対策マニュアル」の作成配布
3,700部作成/病院、高齢者施設、関係機関等514箇所配付

<平成16年度>

- ・院内感染地域支援委員会の開催 2回
- ・「感染対策支援セミナー」の開催 1回
平成17年3月 参加者：中小病院、高齢者施設128施設150名
- ・セミナー講演録の作成配布
1,700部作成/病院、高齢者施設等418施設配布
- ・リーフレット「院内感染・施設内感染ってなあに？」の作成配布
146,000部作成/病院、高齢者施設等、保健所423施設配布

<平成17年度>

- ・院内感染地域支援委員会の開催 4回
- ・「感染対策支援セミナー」の開催 1回
平成17年9月 参加者：中小病院、高齢者施設152施設260名
- ・セミナー講演録の配布
1,700部作成、病院、高齢者施設等421施設配布
- ・相談事例を質疑応答集(Q&A)としてホームページに掲載(平成17年9月～)
アクセス数：389件/平成18年3月末

<平成 18 年度>

- ・院内感染対策地域支援委員会の開催 3回
- ・「感染対策支援セミナー」の開催 2回
 - 第1回 平成18年10月15日(日)
テーマ/MRSA・緑膿菌、血液暴露、カテーテル管理、尿路感染
参加者/116施設 218人
病院121人、介護老人保健施設22人、特別養護老人ホーム63人
行政機関等12人
 - 第2回 平成18年11月12日(日)
テーマ/結核、インフルエンザ、疥癬・白癬、ノロウイルス
参加者/106施設 182人
病院83人、介護老人保健施設17人、特別養護老人ホーム73人
行政機関等20人
- ・セミナー講演録の作成配布
2,000部作成/病院、高齢者施設、児童養護施設、関係団体等約560箇所配布
- ・ホームページ(平成17年9月～)を通じた情報提供
相談事例を質疑応答集(Q&A)として掲載(更新)
アクセス数:1,894件/平成19年2月末時点
 - ⑰月平均アクセス 55件/月
 - ⑱月平均アクセス 136件/月 前年比247%
- ・支援委員会委員による学会報告及び機関誌等へ寄稿
- ・高齢者施設職員研修会等での相談システムの周知

9 相談件数を大幅に増やす対策に関する意見

- ・これまでの主な対策
 - ・介護老人保険施設、特別養護老人ホーム管理者等との検討会開催
 - ・社会福祉施設(特養部会)職員研修会において事業説明
 - ・相談事例(Q&A)のホームページ掲載についての周知
 - ・病院の医療従事者を対象とした医療事故防止対策研修会において事業説明
- ・今後の取組み
 - ・本事業の施設管理者への理解及び施設従事者への周知
 - ・相談の匿名性、行政からの独立性の周知
 - ・医師会と連携し診療所従事者へのアプローチ

10 本年度予算、来年度予算規模

<平成 18 年度>

- ・県事業名
 - 院内感染対策ネットワーク支援事業 949千円(国庫補助473千円)
 - 院内感染危機管理体制整備事業 1,400千円(県単)

<平成 19 年度>

・ 県事業名

院内感染対策ネットワーク支援事業 946 千円 (国庫補助 473 千円)

院内感染危機管理体制整備事業 1,400 千円 (県単)

11 その他ネットワークに関する希望、意見

- ・ 国庫補助事業 (院内感染地域支援ネットワーク相談事業) における対象経費の拡大

< 役務費 > 相談対応の電話、FAX にかかる経費

< 使用料・賃借料 > データベース化に伴うパソコン機器のリース料

- ・ 目的のひとつである感染事例の収集については、本事業実施団体によるデータの共有が十分機能していないことから、データベース事業の早期本格的運用
- ・ 国際医療センター、感染症研究所等による施設・従事者向け情報提供などのサポート

12 事業化に向けて必要と思われる事項

- ・ 財源の確保 (補助事業の継続、地方財政措置)
- ・ 医療安全支援センター事業のような全国的取組みによる事業化

<平成 18 年度 静岡県院内感染対策地域支援委員会>

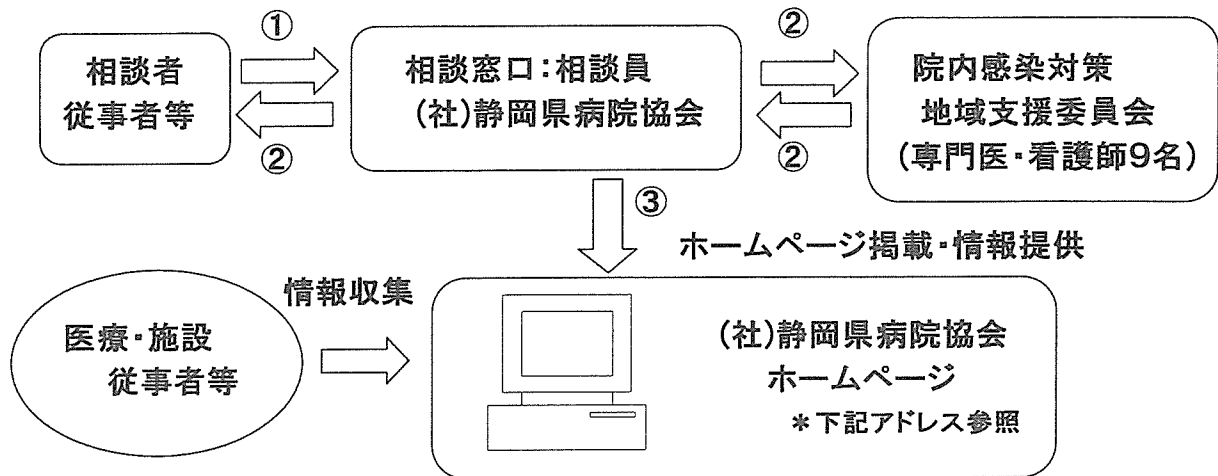
	氏 名	所 属
委員長	矢野 邦夫	県西部浜松医療センター・感染症科長
委 員	前田 正人	三島社会保険病院・副院長兼消化器科部長
委 員	大曲 貴夫	静岡県立静岡がんセンター・感染症科医長
委 員	吉田 康秀	沼津市立病院・呼吸器科部長
委 員	塩村 惟彦	静岡県立総合病院・副院長兼医療安全室長兼血液管理室長
委 員	池谷 健	藤枝市立総合病院・診療部長兼眼科科長兼耳鼻咽喉科長
委 員	石野 弘子	藤枝市立総合病院・感染対策室長 (ICN)
委 員	源馬 均	袋井市立袋井市民病院・副院長
委 員	鳥居 裕一	社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院・副院長

感染対策地域支援相談システム

1 相談窓口 (社)静岡県病院協会
TEL・FAX 054-252-7107

2 相談受付時間 電話 月曜・水曜・金曜(祝日除く) 13:00~16:00
FAX 24時間対応

3 相談方法



- ① 相談者は様式 1-1(別添様式)に記入し、FAX で相談窓口(県病院協会)に送信する。/電話も可
*様式 1-1 は下記ホームページ「感染対策」内「感染対策地域支援相談システム」のページからもダウンロードできます。
- ② 相談員は院内感染対策地域支援委員会の各専門医・看護師に相談・照会し、結果を様式 1-2(添付省略)により原則1週間以内に回答する。
- ③ 院内感染対策地域支援委員会は他の医療機関等に参考となる事例をホームページに掲載する。

「院内感染対策相談窓口質疑応答集」のホームページ公開

○ホームページアドレス

「感染対策」

http://www.shizuoka-bk.jp/kansen_taisaku/index.html

「院内感染対策相談窓口質疑応答集」トップページ

http://www.shizuoka-bk.jp/kansen_qa/kansen_menu2.html

*静岡県院内感染対策地域支援委員会

感染症を専門とする9名で構成

・委員長 矢野邦夫(県西部浜松医療センター 感染症科長)

静岡県における 地域支援ネットワーク

矢野邦夫 県西部浜松医療センター 感染症科科长 兼 衛生管理室室長，
静岡県院内感染対策地域支援委員会，社団法人静岡県病院協会

▶ Summary and Keywords

- ①「病院感染対策」は、一つの病院のみで完結するものではなく、地域全体で実施すべき対応である。
- ②静岡県では、社団法人静岡県病院協会が県より委託を受け、地域支援ネットワークを立ち上げた。
- ③地域支援ネットワークの活動内容は、[①院内感染対策支援委員会の開催] [②病院感染対策に関する知識の普及啓発] [③相談窓口の設置] である。
- ④すでに、医療機関、医療・福祉関係団体に「病院感染予防対策マニュアル」が配付され、院内感染相談窓口質疑応答集も公開されている。

🏥医療ケア関連感染対策 🏥院内感染防止地域支援ネットワーク
🏥院内感染対策支援委員会 🏥感染対策地域支援相談システム

▶▶▶ はじめに

「病院感染（院内感染）対策」は、一つの病院のみで完結するものではなく、地域全体で実施すべき対応である。一つの病院においてESBL（Extended-spectrum β -lactamases：基質拡張型 β -ラクタマーゼ）や多剤耐性緑膿菌の集団感染が発生した場合、それに巻き込まれた患者がほかの施設に移動すれば、そこでの新しい集団感染の感染源となりうる。

また、入院患者に広域抗菌薬が長期投与されれば、腸管にはその抗菌薬に耐性の細菌が増殖し、腸内細菌叢が変化してしまう。そして、このよう

な患者が多数入院している施設では、病院細菌叢での耐性菌の割合が増加することとなる。病院細菌叢における耐性菌の割合が多い病院が地域で増加すれば、当然のことながら、その地域の耐性菌の割合が増加していることになる。

このようなことから、病院感染対策には地域全体における感染対策の充実が必要であるといえる。

▶▶▶ 院内感染防止地域支援 ネットワーク事業

平成15年12月より、静岡県において「院内感染防止地域支援ネットワーク事業」が始まった。そ

表1 院内感染防止地域支援ネットワーク事業実績

平成15年度

- ・第1回院内感染地域支援委員会（平成15年12月26日）
 - ①院内感染モデル事業打ち合わせ会議報告
 - ②事業趣旨説明
- ・第2回院内感染地域支援委員会（平成16年1月28日）
 - ①今後の事業計画（マニュアル作成、セミナー企画、ホームページ開設など）
- ・第3回院内感染地域支援委員会（平成16年2月26日）
 - ①マニュアル原案説明
 - ②今後の事業計画（特に、セミナー開催について）
- ・第4回院内感染地域支援委員会（平成16年3月22日）
 - ①マニュアル作成状況説明
 - ②ホームページ開設

平成16年度

- ・「病院感染対策マニュアル」配布（平成16年4月）
 - ①3,700部を県内病院に配布した
- ・第1回院内感染地域支援委員会（平成16年6月7日）
 - ①ホームページの開設について
 - ②「病院感染対策マニュアル」配布について
- ・第2回院内感染地域支援委員会（平成16年12月22日）
 - ①「感染対策支援セミナー」の開催について
 - ②相談事例報告および課題について
 - ③ホームページの掲載内容の検討
- ・「感染対策支援セミナー」（平成17年3月5日）
 - ①中小規模病院および高齢者施設職員を対象
 - ②70施設150人参加
 - ③セミナー内容
 - 講演1：結核について
 - 講演2：インフルエンザについて
 - 講演3：MRSA感染症について
 - 講演4：疥癬について
 - 講演5：針刺しについて
 - ④セミナーの内容については「静岡県病院協会会報第17号」に記載し、1,700部を作成・配布した。配布先は静岡県病院協会会員病院、中小規模病院、高齢者福祉施設などである。

平成17年度

- ・第1回院内感染地域支援委員会（平成17年6月8日）
 - ①セミナー開催計画
 - ②ホームページの運用

- ・第2回院内感染地域支援委員会（平成17年8月22日）
 - ①セミナー開催の具体的スケジュールや開催案内配布先決定
- ・「感染対策支援セミナー」（平成17年9月24日）
 - ①152施設260人参加（病院関係70施設134人、高齢者施設82施設126人）
 - ②セミナー内容
 - 講演1：インフルエンザについて
 - 講演2：結核について
 - 講演3：ノロウイルスなど下痢性疾患について
 - 講演4：MRSAについて
 - 講演5：血液曝露対策について
 - 講演6：疥癬について
 - ③セミナーの内容については「静岡県病院協会会報第18号」に記載し、1,700部を作成・配布した。配布先は県内病院186カ所、県内高齢者施設235カ所（老人保健施設、特別養護老人ホームなど）。
- ・第3回院内感染地域支援委員会（平成17年12月6日）
 - ①新型インフルエンザ患者に対する医療提供体制について
- ・第4回院内感染地域支援委員会（平成18年3月7日）
 - ①18年度事業計画の検討について（セミナー開催など）
 - ②ホームページアクセス回数は389件（平成18年3月31日現在）

平成18年度

- ・第1回院内感染地域支援委員会（平成18年9月11日）
 - ①感染対策支援セミナーについて
- ・「感染対策支援セミナー」【県中部】（平成18年10月15日）
 - セミナー内容
 - 講演1：MRSAと緑膿菌について
 - 講演2：血液曝露対策について
 - 講演3：カテーテル管理について
 - 講演4：尿路感染について
- ・「感染対策支援セミナー」【県東部】（平成18年11月12日）
 - セミナー内容
 - 講演1：結核について
 - 講演2：インフルエンザについて
 - 講演3：疥癬と白癬について
 - 講演4：ノロウイルスについて